

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-153	16-304	慶應義塾大学
<b>題名(原題/訳)</b>		
Single-Dose Interaction Study of the Arginine Vasopressin Type 1B Receptor Antagonist ABT-436 and Alcohol in Moderate Alcohol Drinkers. アルコールを中等量飲む人におけるアルコールとアルギニンバソプレシン型 1B 受容体拮抗剤 ABT-436 の単回投与相互作用の研究		
<b>執筆者</b>		
Katz DA1, Locke C1, Liu W1, Zhang J1, Achari R1, Wesnes KA2,3, Tracy KA1.		
<b>掲載誌</b>		
Alcohol Clin Exp Res. 2016 Apr;40(4):838-45.		
<b>キーワード</b>		PMID:
バソプレシン、視床下部-下垂体-副腎軸、ストレス		26969417
<b>要旨</b>		
<p>背景</p> <p>ABT-436(強力および選択的なアルギニンバソプレシン(AVP 1B 型受容体(V1B)アンタゴニスト)は、以前にヒトで基礎視床下部-下垂体-副腎(HPA)軸の減弱を示した。</p> <p>V1B アンタゴニストは、ストレス調節における V1B 受容体の役割とストレスがアルコール依存の再発の誘因であるとの発見から、アルコール依存患者の治療になると仮定される。</p> <p>V1B アンタゴニストは、アルコール依存症のラット・モデルで、良好な結果を示した。</p> <p>V1B アンタゴニストの単回投与臨床研究は、ABT-436 とアルコールの間の薬物動態学的であるか薬力学的相互作用への可能性を評価するために行われた。</p> <p>方法</p> <p>20 人の中等度アルコールを飲む人は、二重盲式無作為 4 時期交差試験で、一回の 1,000mg の ABT-436 用量(または対応するプラセボ)と一回の 0.5g/kg のアルコール用量(またはアルコールのためのプラセボ)の 4 つの組合せを各々受けた。</p> <p>血漿 ABT-436 と血中アルコール濃度は、薬物動態学的相互作用を評価するために測定された。コンピューター化された認識試験(CDR システム)、Bond-Lader Visual Analog Scales 尺度と姿勢安定性試験は、ABT-436 でアルコールと潜在的相互作用の効果を測定するのに用いられた。ABT-436 の薬理効果は、血清コルチゾールを測定することによって評価された。</p> <p>結果</p> <p>ABT-436 もアルコールも、他の血中濃度に影響を及ぼさなかった。</p> <p>アルコールは、5 つの CDR システム・コンポジット変数のうちの 2 の上で、成績を低下させた(注意力(p = 0.002); 第2のエピソード記憶の質(p &lt; 0.001))、そして、姿勢安定性の減弱(p = 0.043)。</p> <p>ABT-436 は、それらの悪影響を悪化させなかった。</p> <p>ABT-436 は血清コルチゾール(p &lt; 0.001)を減少させた。そして、アルコールは HPA 軸に対するこの予想される効果を有意に減弱させなかった。</p> <p>結論:</p> <p>ABT-436 とアルコールの間の薬物動態学的または薬力学的相互作用は、観察されなかった。</p>		